

安全データシート

作成:2012年10月 1日

前改定:2018年 1月10日

改定:2020年 3月 4日

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : ウインドウオッシャー液 -20°C
会社名 : 東北新和化学株式会社
住所 : 福島県二本松市原セ笠張381-3
担当部門 : 本社工場
電話番号 : 0243-22-7651
FAX番号 : 0243-22-7652
推奨用途 : 自動車窓洗浄噴霧装置に用いる洗浄液

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

・物理化学的危険性

引火性液体 : 区分3

・健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5

急性毒性(経皮) : 区分外

目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2A

生殖毒性 : 区分1B

特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)

: 区分3(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復暴露) : 区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)

水生環境急性有害性 : 区分外

水生環境慢性有害性 : 区分外

2.2 GHSラベル要素

・シンボル



・注意喚起語 : 危険

・危険有害情報 : 飲み込むと有害の恐れ

: 引火性液体及び蒸気

: 強い眼刺激

: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

: 中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害

: 呼吸器への刺激のおそれ

: 眠気又はめまいのおそれ

: 長期にわたる、又は反復暴露による中枢神経系、視覚器の障害

3. 組成、成分情報

・単一製品・混合物の区別:混合物

成分及び含有量

成分名	含有率%	CASNo.	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.	毒劇物法
メタノール	28～32%	67-56-1	2-201	560	非該当	劇物※1
水	68～72%	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当
非イオン系界面活性剤	1未満	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当
色素	微量	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

化審法 No. : 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

安衛法 No. : 労働安全衛生法第 57 条の 2 通知対象物質の政令番号

PRTR 法 No. : 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律指定化学物質の種類及び政令番号

※1毒物劇物取締法 メタノールは劇物であるが、含有率の関係により該当しない。

4. 応急処置

- ・吸引した場合 : 吸引して気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。症状が改善しない場合はただちに医師の診断を受けること。
- ・皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染した衣服を脱ぎ、石鹼を用い大量の水でよく洗い流すこと。皮膚に刺激等の異常がある場合は直ちに医師の診断を受けること。
- ・目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で眼球、瞼の隅々まで15分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。刺激等の異常がある場合は直ちに医師の診断を受けること。
- ・飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水を飲ませ吐き出し、できるだけ速やかに医師の診断を受けること。ただし、被災者に意識がない場合は何も与えてはいけない。

5. 火災時の措置

- ・消火剤 : 水[○] 炭酸ガス[○] 泡[○] 粉末[○] 乾燥砂[○] アルコフォーム[○]
- ・消火方法 : ①可燃物を周囲から取り除き、保護具を着用し消火剤を使用して消火する。
②消火作業は風上から行なう。
③周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。
④移動不可能な場合は周囲に散水して冷却する。
- ・消火者の保護 : 適切な保護具(保護手袋、保護マスク、保護眼鏡)を着用する。

6. 漏出時の処置

- ・人体に対する注意事項、保護具の装着
 - : 屋内の場合、窓を開ける等、十分に換気を行う。
 - : 作業者は適切な保護具(保護手袋、保護眼鏡、保護マスク)を着用し、眼、皮膚等へ付着を避け、ガスを吸入しないようにする。
 - : 関係者以外を立入り禁止にする。
 - : 風上より作業を行い風下の人を非難させる。
- ・環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され環境に影響を起こさないように注意する。
- ・回収・中和・浄化方法
 - 少量の場合 : 乾燥砂、おがくず、ウエス等で吸着させ、密閉出来る容器に回収する
 - 大量の場合 : 盛土等で囲い流出を防止し安全な場所に導いてから処理をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い上の注意
 - ： 引火性がありますので、火気に近づけないで下さい。
 - ： 吸入飲用不可 人体に害がありますので、吸入したり飲んだりしないで下さい。
 - ： 皮膚の弱い人は、かぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用して下さい。
 - ： 子供の手の届かない所に置いて下さい。
 - ： 万一飲んだ場合は、直ちに吐かせて医師の診断を受けて下さい。
 - ： 吸入すると人体に害がありますので、換気のよい所で使用して下さい。
 - ： 誤って目に入った場合(コンタクトを着用している場合は、直ちに外して下さい。)は、直ちに清水で十分洗浄し、異常がある場合は医師の診断を受けて下さい。
 - ： 皮膚についた場合は、直ちに清水で洗い流して下さい。
 - ： 作業中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、通気のよい所で安静にして下さい。
気分が回復しない場合は医師の診断を受けて下さい
 - ： ウォッシャー液の変質の恐れがありますので、ガラス撥水剤との混合使用はしないで下さい。
 - ： 塗面がおかされる恐れがありますので、炎天下での使用は避けて下さい。
 - ： 劣化したワイパーブレードはウォッシャー液の性能を十分発揮できませんので交換のうえ使用して下さい。
 - ： 容器を強く持ってキャップを開けるとウォッシャー液が飛び出す恐れがありますので注意して下さい。
 - ： ノズルの詰まる原因になりますので、タンク注入時に、塵・埃を入れないようにして下さい。
 - ： ウォッシャー液を噴射する場合は、自動車の内外気切り替えスイッチを内気循環にして下さい。
 - ： 夏期等は、清水でうすめてご使用ください。尚、寒冷地区又は冬期間は原液のままご使用下さい。
- ・保管及び廃棄上の注意
 - ： 保管中は、必ず容器を密閉し、直射日光の当たる所や温度が40℃以上になる所には置かないで下さい。
 - ： 容器を廃棄する際は、中身を使い切ってから捨てて下さい。

8. ばく露防止および人に対する保護処置

・メタノール

管理濃度 : 200ppm

許容濃度 : 200ppm(日本産業衛生学会)

: 200ppm(ACGIH)

保護処置 : 作業者は適切な保護具(保護手袋、保護眼鏡、保護マスク)を着用し、眼、皮膚等へ付着を避け、ガスを吸入しないようにする:

9. 物理的・化学的性質

形状 : 液体

色 : 青色透明

臭い : アルコール臭

PH : 6.8~7.5

融点・凝固点 : -5℃(凝固点)

沸点・初留点 : データなし

引火点 : データなし

発火点 : 464℃(メタノール 100%としての情報)

蒸気圧(20℃) : 12.3kpa(メタノール 100%としての情報)

爆発限界 : 下限 5.5vol% 上限 44vol%(メタノール 100%としての情報)
比重(20/20°C) : 0.979
溶解度 : 水に対する溶解性 容易

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常においては安定である
避けるべき条件 : 火気、熱源
混融危険物質 : 酸化剤、過酸化水素
危険有害な分解性物質 : 加熱分解により一酸化炭素、ホルムアルデヒドを発生する可能性がある。

11. 有害性情報

製品固有の情報なし(以下はメタノールについての有害情報を記載する。)

・急性毒性 : 経口 ラット LD₅₀ 5,628 ~14,400mg/kg 区分外
吸入 ラット LC₅₀(4H) 64,000ppm 区分外
経口 マウス LD₅₀ 7,300mg/kg 区分外
経皮 ウサギ LD₅₀ 15,800mg/kg 区分外

・皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
・目に対する重篤な損傷・刺激性 : 区分 2A-2B

ウサギを用いた試験で軽度ないし中等度の眼刺激性が認められたとの記述があるが、回復性については明らかな記述がないこと、およびヒトで角膜の障害、強度の結膜浮腫が一過性に認められている。

・呼吸器感受性 : 情報なし
・生殖細胞変異原性 : マウス赤血球を用いる小核試験で陰性の結果がある。
・発がん性 : 情報なし
・生殖毒性 : 区分 1B

妊娠ラットおよびマウスを用いた経口及び暴露試験で胎児奇形または胎児死亡の増加が認められたとの記述があるが、信頼できるヒト暴露例のデータがない。雄ラットでステロン濃度の低下または清掃編成がみられたとの記述があるが、これとは逆に、雄の生殖器系への影響は認められないとの記述もあり雄の生殖能力に対する影響は明らかではない。

・特定標的臓器・全身毒性一単回暴露 : 区分 1
ヒトで急性経口又は吸入暴露により中枢神経系の抑制及び視覚器障害がみられるとの記述(EHI, ACGIH, DFGOT, PATTY、産衛学会勧告)やヒト暴露で代謝性アシドーシスがみられるとの記述(ACGIH, DFGOT)から、標的臓器は中枢神経系及び全身毒とした。ラット反復吸入暴露で気道刺激性がみられたとの記述、ヒトで粘膜刺激症状がみられるとの記述がある。
・眠気またはめまいのおそれ : 区分 3
・麻酔作用を有する。呼吸器への刺激のおそれ : 区分 3
・特定標的臓器・全身毒性一反復暴露 : 区分 1
・吸引力呼吸器有毒性 : 情報なし

12. 環境影響情報

製品固有の情報なし(以下はメタノールについての有害情報を記載する。)

水生環境急性有害性 : 区分外 甲殻類(プライシユリンプ) LC₅₀: 900. 73mg/L/24H
水生環境慢性有害性 : 難水溶性でなく、急性毒性が低い。

13. 廃棄上の注意

- ・適切な廃棄の方法 : 廃棄する際は、中身を使いきってから、地方自治体の基準従って廃棄すること。
- ・容器及び包装の適正な処理方法 : 廃液、容器等の廃棄物は都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者や収集運搬業者と委託契約して処理する。

14. 輸送上の注意

- ・国連番号 : 1993
- ・国連分類 : 3
- ・陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
- ・海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- ・航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
- ・輸送上の注意 : 容器の破損、漏れなどがないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積む。
荷崩れ防止を確実に行う。
輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う。

15. 適用法令

- ・労働安全衛生法 : 危険物 引火性の物
第2種有機溶剤(メタノール)
表示対象物質 メタノール
通知対象物質 メタノール
- ・PRTR法 : 非該当
- ・毒劇法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献

JISZ7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JISZ7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS提供制度(経済産業省、厚生労働省)

原料メーカーのSDS

備考

記載内容は、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものであり、安全を保障するものではありません。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。